



KANAGAWA

Peace Mail

神奈川県平和委員会

資料提供ニュース 第143号 11/6/30発行

横浜市中区野毛町2-6-1

大澤屋ビル4F

TEL/FAX ; 045-231-0103

Mail:mikio-yu@amber.plala.or.jp

大震災後の情勢下、憲法を生かし平和な日本をつくろう 日本平和委員会が第61回全国大会を開催（神戸）

6月25、26日、日本平和委員会は、第61回定期全国大会を神戸市内で開催しました。

20代から90代まで約300人の代表が全国から集まり、2日間熱心に討論しました。

東日本大震災で被災した福島、宮城、岩手の東北3県を代表し、福島県平和委員会代表の山口文彦さんが、被災の状況・原発被害の様子、今後の課題などを特別報告しました。あわせて沖縄の闘いの報告、国際活動についてそれぞれ特別報告がされました。



裁判支援を訴える山崎正則さん



全体討論で報告する県・菊谷理事長

神奈川からは、20人の代議員・評議員が各地域から参加し、来賓として米兵犯罪裁判で闘っている原告の山崎正則さんが弁護団の中村晋輔弁護士と共に参加しました。

山崎さんは「米兵犯罪を繰り返してはなりません。高裁での裁判勝利のために署名を広げてください」と訴え、会場でも分科会でも

署名が集められました。



神奈川の鈴木さんの発言

神奈川から全体討論に参加した鈴木和弘さんは、3・11の時の原子力空母ジョージ・ワシントンの様子をリアルに報告し、「海に浮かぶ原子炉」横須賀の原子力空母の危険を訴えました。

また、今大会で名実ともに全国1位となった神奈川県平和委員会の「仲間づくり・組織づくり」の取り組みを菊谷節夫県理事長が報告しました。



被災地東北を代表して報告する福島代表

議案を提案する千坂純事務局長

